## 【提出方法】

利用許可

の条件

(代表者のみで

OK)

FAX(0134-32-2388)または申込フォームからご提出ください。 予約状況により使用できない場合は折り返し連絡いたします。 連絡がない場合は申込完了です。



## 記載例

OR =- F

		OR = − F						
			副館長	美術館主幹	事務長		係	
		市立小樽文学	: 给,羊/抗药	5 研修安等	医利田电池	<b>*</b>		
		山立小将人于	· 四 大 四 科	₃ ₩₩±₹		·■ R○年 ○月		
	小樽市教育	育委員会 様					, , ,	
		この申請書を書いている方が所属	园 体	- 4 株式会	社〇〇(旅行	会社名)	待機場所を傾	
		する団体(旅行会社、学校など)	代表者氏名 会社の代表者氏名や学校:				生の人数(2名 名 の利用でも椅-	
	代表者住所 会社や学校の住所 2脚ま							
			連絡	先 013	4-00-0	0000 (正	(田)	
	この申請書を書いてい 下記のとおり市立小樽文学館・美術館研修室等の利用を申込みま <sup>-</sup> 。 <sup>る方の名前(<b>担当者名</b>)</sup>							
本部利用(待機 場所)の利用は ミ <b>ーティングル</b> 一 <b>ムの欄</b> 、集合 場所の利用は <b>色</b> 内広場の欄に記 入してください	下記のと					(担目有名)		
	利用目的 	○○小学校 修学旅		及び集合場所	1	利用人数	生徒 150 名 引率 15 名	
		(本部利用のみの使用の場合)	は「及び集合			午前 午前		
	<b>\</b>	1. 研修室 この	欄は記		更演	時分	→	
			<b> 別 (' み 口に</b> <u> </u>			干後	午後	
本部利用の場 合、貸切はでき ません。一般の	利用放設 及び	2.) ミーティングルーム	R〇年 〇月	○日(○曜日	∃)から <b>(</b> 4	王前	午前	
			年 月	年 月 日( 曜日)まで 1			) 時 00 分~2 時 15 分 <sup>時</sup>	
	利用期間	(貸切 : 必要 不要)	(休館日を	:除く)	日間 4	干後	午後	
客様も利用る場所です。			R〇年 〇月	○日(○曜日	∃)から <sup></sup>	干前	午前	
	<mark></mark>	3. 色内広場	年 月		目)まで		~ 2時15分	
	\		(休館日を			干後	年後	
	備品貸出	※研修室備え付けの机 24 本				\[	集合場所として	
	有	1. マイク 本 5. 長机 走 徒の皆さんが集ま   2. マイクスタンド 本 6. パイプ椅子 より始める時間~使						
	•/	3. ワイヤレスア×プの	欄は記	不能	田ベは	-  広場のみ)	用を終える時間	
	無							
				_,	·			
		住	 È 所 北?					
∃利用する <u>先</u>	責任者	氏名 小樽 太郎 電話番号 090-0000-0000(携帯)/0134-00-0000(学校)						
<b>2名前</b> を記入	£i[⊞=' =r	別紙「古立小嫡立学館・美術館、研修室・ミーティングルール・角内庁提のご安内」の内容						

左記の**先生の携帯電話番号** と、<u>学校の電話番号</u>を記入 (忘れ物など緊急連絡で使 用するため)

別紙「市立小樽文学館・美術館 研修室・ミーティン<mark></mark>グルーム・色内広場のご案内」の内容

を守ってください。(研修室・ミーティングルームの壁に貼ってあります。)

利用する**学校の住** 所と学校名を記入